

県立高等学校再編振興に係るアンケート調査
報 告 書

平成24年2月20日

高 等 学 校 課

目 次

1	はじめに	1
2	調査の概要	1
3	集計結果	2
	・ 中学校 生徒	2
	・ 中学校 保護者	3
	・ 高等学校 全日制 生徒	4
	・ 高等学校 定時制 生徒	5
	・ 高等学校 全日制 保護者	6
	・ 高等学校 定時制 保護者	7
	・ 事業所	8
4	設問ごとの比較	9
5	全日制と定時制との比較	14
6	事業所について	18
7	総括	21
	資料〈アンケート書式〉	22

1 はじめに

本県では平成16年度から25年度までの10年間を見通した「県立高等学校再編計画」を策定し、本年度から第3次実施計画を実行している。しかし、平成26年度以降も生徒の減少が続き、更なる県立高等学校の振興と再編が必要であることから、産業振興や南海地震に対する防災等の視点も考慮した次期計画の策定に取り組んでいる。

今回の調査は、県内事業所、市町村（学校組合）立中学校3年生とその保護者及び県立高等学校2年生とその保護者から県立高等学校に対する期待等について次期計画策定のための資料を得るために実施した。

2 調査の概要

(1) 実施時期

平成23年9月

(2) 調査対象

① 県内の市町村（学校組合）立中学校生徒（3年生）とその保護者（抽出）

【抽出校】23校を抽出 中学生 773名中、714名から回答

保護者 773名中、631名から回答

② 県内の県立高等学校生徒（2年生）とその保護者（抽出）

【抽出校】全日制13校、定時制7校

高校生 613名中、540名から回答

保護者 613名中、465名から回答

③ 県内の事業所 100事業所中、84事業所から回答

【業種別】

農・林・漁業：8事業所、土木・建設業：5事業所、製造業：41事業所、
情報通信業：2事業所、運輸業：3事業所、卸売・小売業：15事業所、
飲食店・宿泊業：6事業所、医療・福祉：7事業所、
サービス業：13事業所

(3) 回収状況

① 中学生92.4%、中学生保護者81.6%

② 高校生88.1%、高校生保護者75.9%

③ 事業所84.0%

(4) アンケートの設問

① 中学生、高校生及びその保護者に対する設問

・進学する高校を選ぶとき大切にすること

・高校で望むこと

・高校で身に付けたいこと（高校で身に付けてもらいたいこと）

・通学時間

・適正学級数

・進学したい学科（どのような学科があればよいか）

② 事業所に対する設問

・子どもに大切にしてもらいたいこと

・高校で身に付けてもらいたいこと

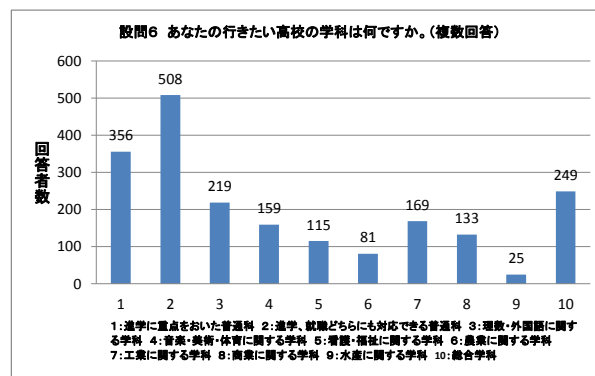
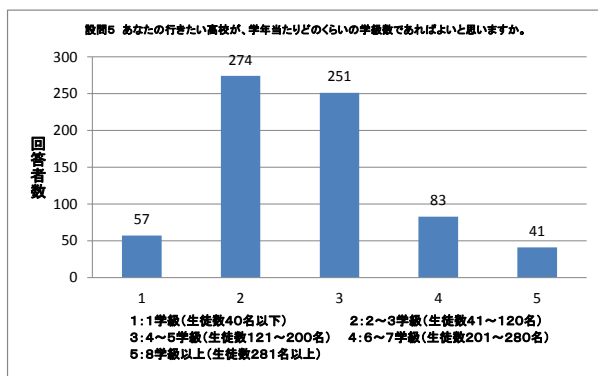
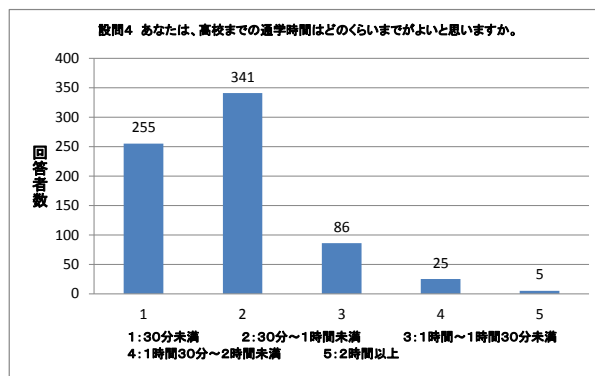
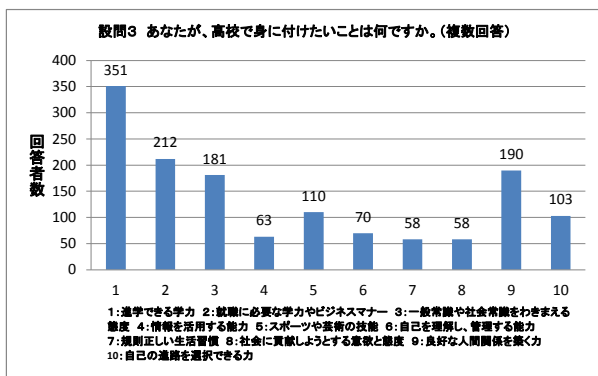
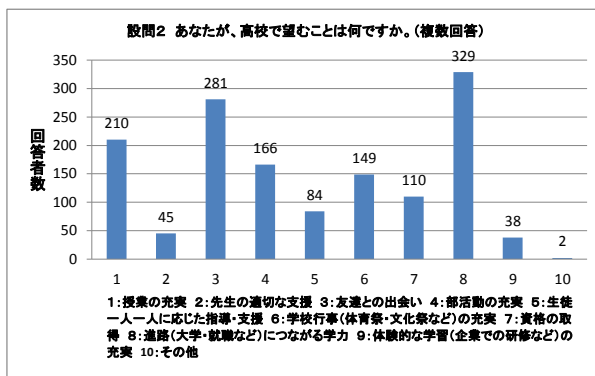
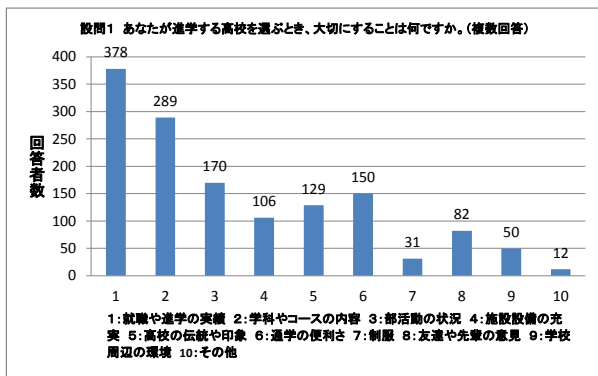
・高校と連携できること

・どのような学科があればよいか

・高卒者を採用するときに重要視すること

3 集計結果

高知県立高等学校再編振興に係るアンケート(中学校 生徒)



対象:23中学校714名(中学3年生)

《設問1 高校を選ぶとき、大切にすること》「就職や進学の実績」は378人(52.9%)で最も多く、以下「学科やコースの内容」は289人(40.5%)、「部活動の状況」は170人(23.8%)の順である。

《設問2 高校で望むこと》「進路につながる学力」は329人(46.1%)で最も多く、以下「友達との出会い」は281人(39.4%)、「授業の充実」は210人(29.4%)の順である。

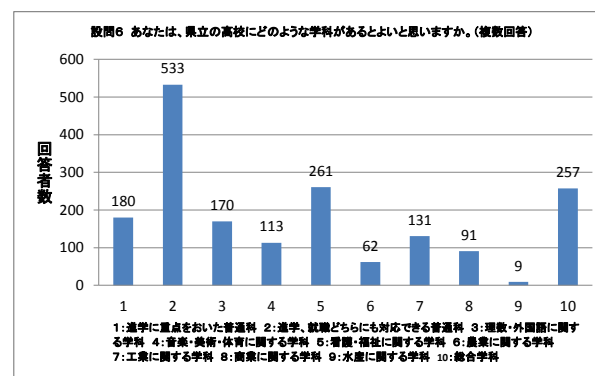
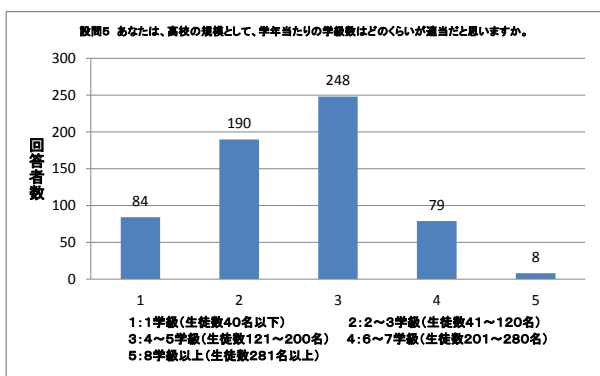
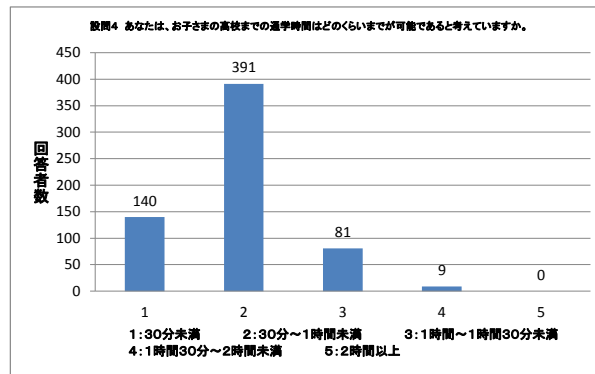
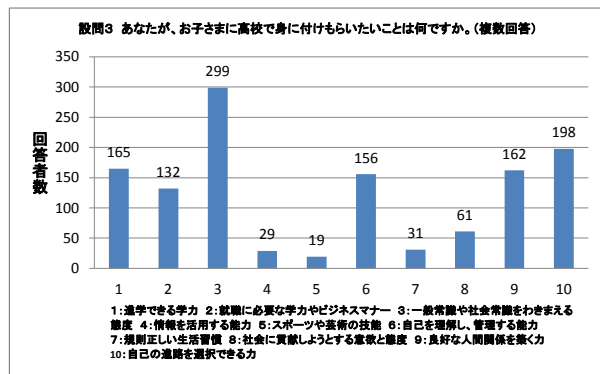
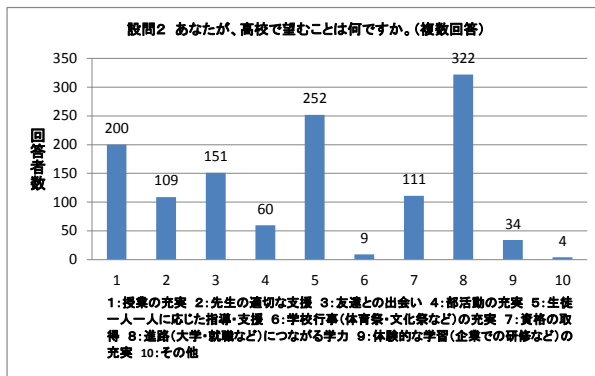
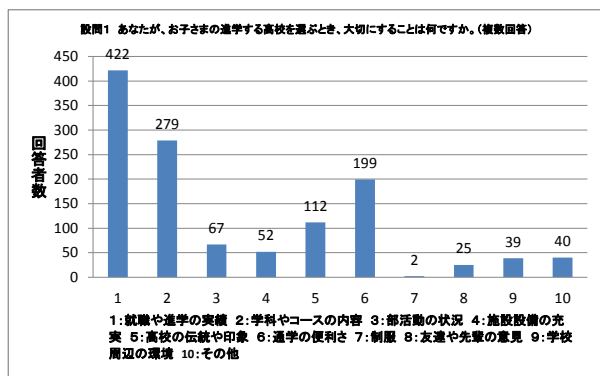
《設問3 高校で身に付けたいこと》「進学できる学力」は351人(49.2%)で最も多く、以下「就職に必要な学力やビジネスマナー」は212人(29.7%)、「良好な人間関係」は190人(26.6%)、「一般常識や社会常識をわかまえる態度」は181人(25.4%)の順である。

《設問4 通学時間について》「30分～1時間未満」は341人(47.8%)で最も多く、ついで「30分未満」は255人(35.7%)であった。

《設問5 学年当たりの学級数》「2～3学級」は274人(38.4%)で最も多く、ついで「4～5学級」は251人(35.2%)であった。

《設問6 行きたい学科について》「進学、就職どちらにも対応できる普通科」は508人(71.1%)で最も多く、以下「進学に重点をおいた普通科」356人(49.9%)、「総合学科」は249人(34.9%)の順である。

高知県立高等学校再編振興に係るアンケート(中学校 保護者)



対象: 23中学校631名(中学3年生の保護者)

《設問1 高校を選ぶとき、大切にすること》「就職や進学の実績」は422人(66.9%)で最も多く、以下「学科やコースの内容」は279人(44.2%)、「通学の便利さ」は199人(31.5%)の順である。

《設問2 高校で望むこと》「進路につながる学力」は322人(51.0%)で最も多く、以下「生徒一人一人に応じた指導・支援」は252人(39.9%)、「授業の充実」200人(31.7%)の順である。

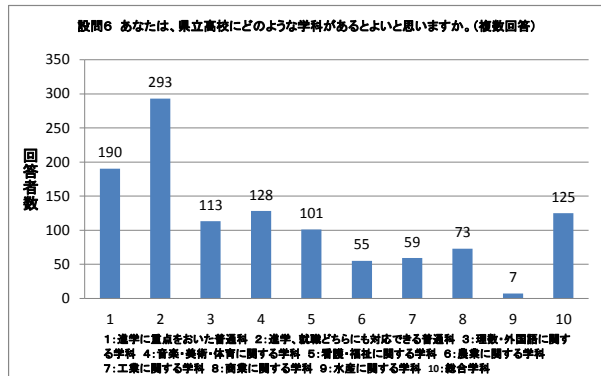
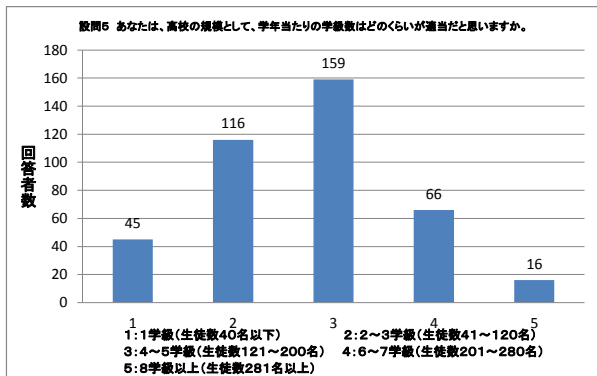
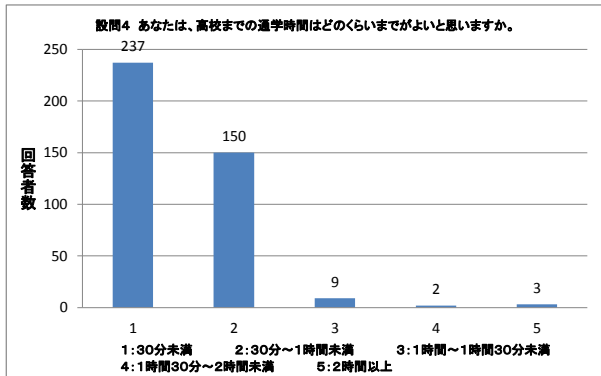
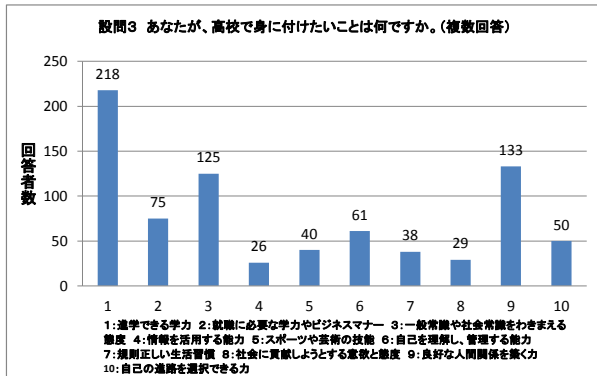
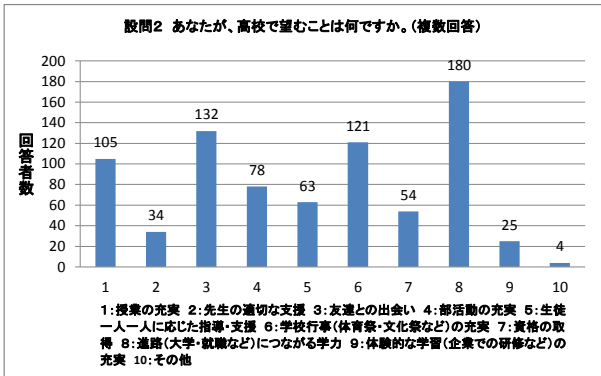
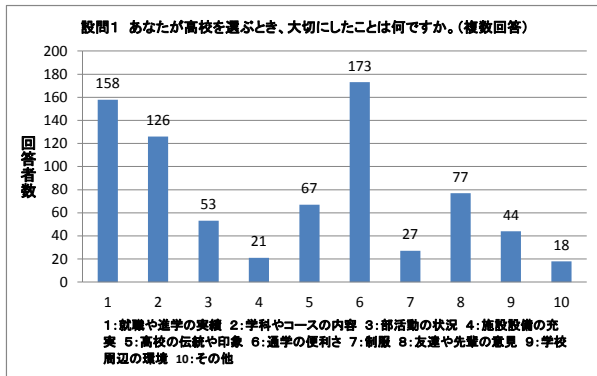
《設問3 高校で身に付けたいこと》「一般常識や社会常識をわかまえる態度」は299人(47.4%)で最も多く、以下「自己の進路を選択できる力」は198人(31.4%)、「進学できる学力」は165人(26.1%)の順である。

《設問4 通学時間について》「30分～1時間未満」は391人(62.0%)で最も多く、以下「30分未満」は140人(22.2%)、「1時間～1時間30分未満」は81人(12.8%)の順である。

《設問5 学年当たりの学級数》「4～5学級」は248人(39.3%)で最も多く、以下「2～3学級」は190人(30.1%)、「1学級」84人(13.3%)の順である。

《設問6 あるとよい学科について》「進学、就職どちらでも対応できる普通科」は533人(84.5%)で最も多く、以下「看護・福祉に関する学科」は261人(41.4%)、「総合学科」は257人(40.7%)の順である。

高知県立高等学校再編振興に係るアンケート(高等学校 全日制 生徒)



対象:全日制13校 403名(高校2年生)

《設問1 高校を選ぶとき、大切にしたいこと》「通学の便利さ」は173人(42.9%)で最も多く、以下「就職や進学の実績」は158人(39.2%)、「学科やコースの内容」は126人(31.3%)の順である。

《設問2 高校で望むこと》「進路につながる学力」は180人(44.7%)で最も多く、以下「友達との出会い」は132人(32.8%)、「学校行事の充実」は121人(30.0%)の順である。

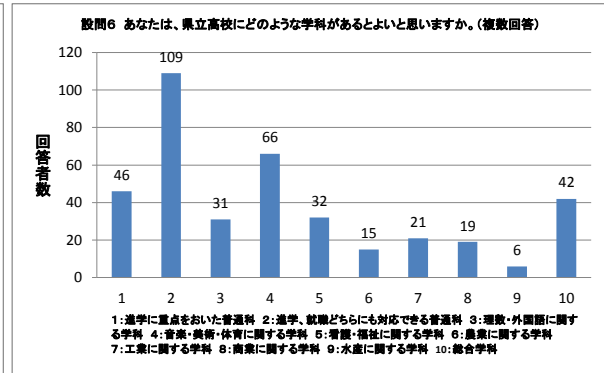
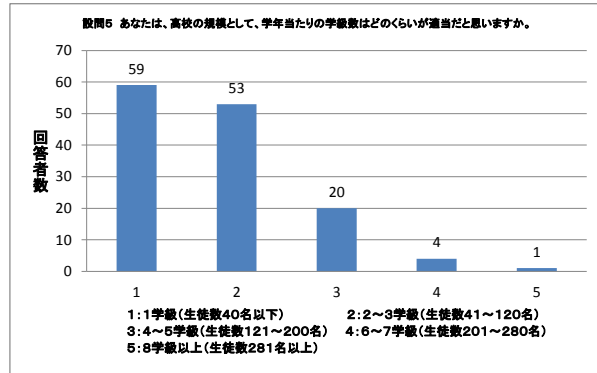
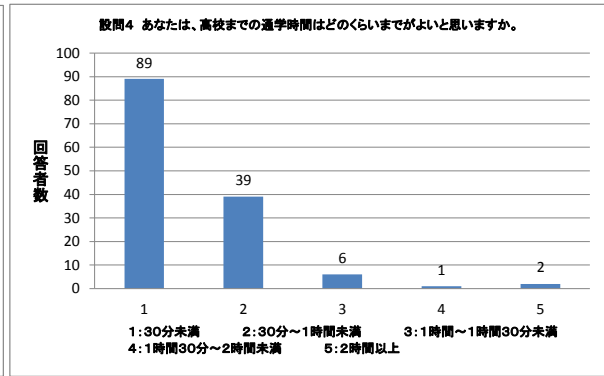
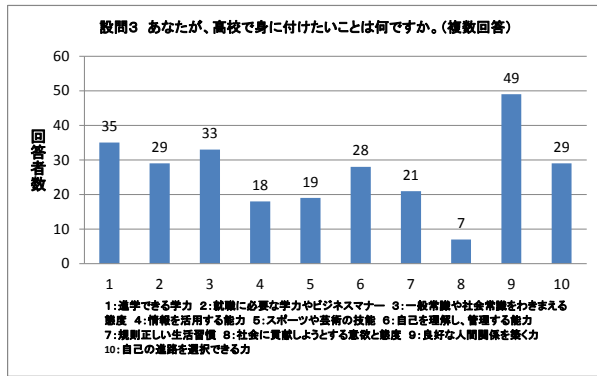
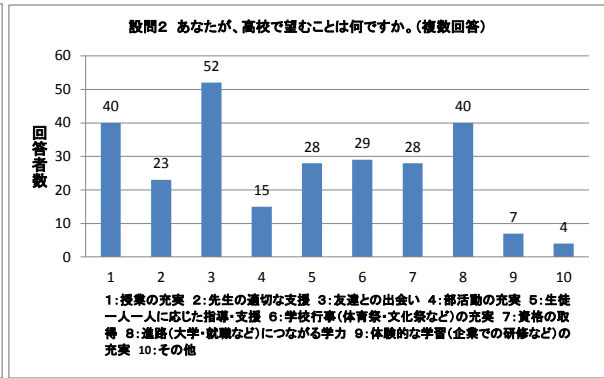
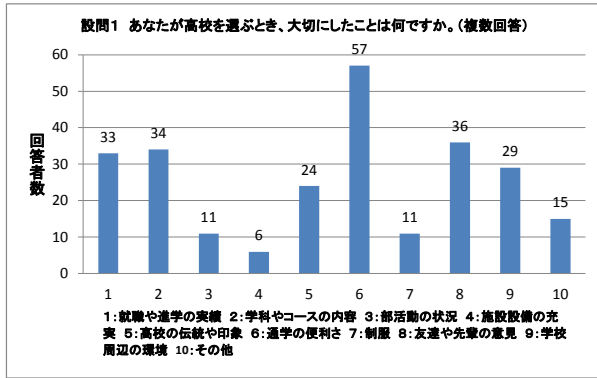
《設問3 高校で身に付けたいこと》「進学できる学力」は218人(54.1%)で最も多く、以下「良好な人間関係を築く力」は133人(33.0%)、「一般常識や社会常識をわかまえる態度」は125人(31.0%)の順である。

《設問4 通学時間について》「30分未満」は237人(58.8%)で最も多く、次いで「30分～1時間未満」は150人(37.2%)である。

《設問5 学年当たりの学級数》「4～5学級」は159人(39.5%)で最も多く、以下「2～3学級」は116人(28.8%)、「6～7学級」は66人(16.4%)の順である。

《設問6 あるとよい学科について》「進学、就職どちらにも対応できる普通科」は293人(72.7%)で最も多く、以下、「進学重点をおいた普通科」は190人(47.1%)、「音楽・美術・体育に関する学科」は128人(31.8%)の順である。

高知県立高等学校再編振興に係るアンケート(高等学校 定時制 生徒)



対象:定時制9校 137名(高校2年生)

《設問1 高校を選ぶとき、大切にされたこと》「通学の便利さ」は57人(41.6%)で最も多く、以下「友達や先輩の意見」は36人(26.3%)、「学科やコースの内容」は34人(24.8%)、「就職や進学の実績」は33人(24.1%)の順である。

《設問2 高校で望むこと》「友達との出会い」は52人(38.0%)で最も多く、以下「授業の充実」は40人(29.2%)、「進路につながる学力」は40人(29.2%)の順である。

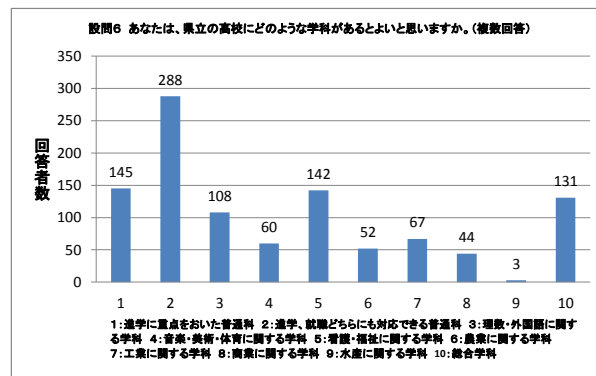
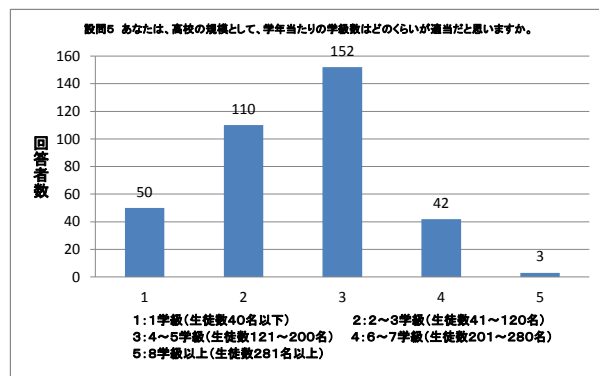
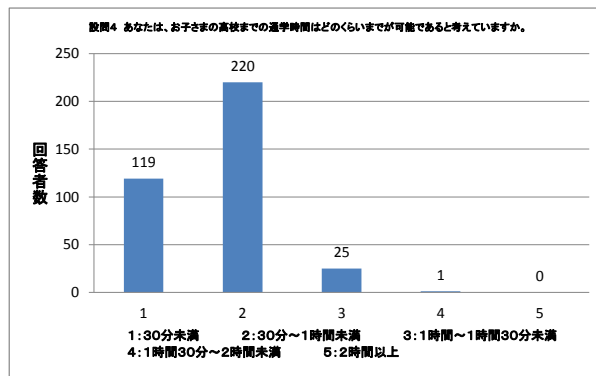
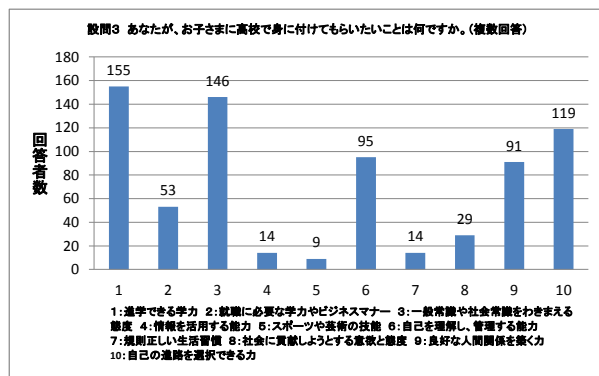
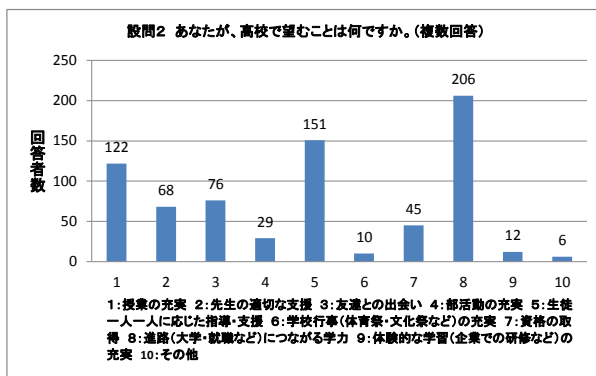
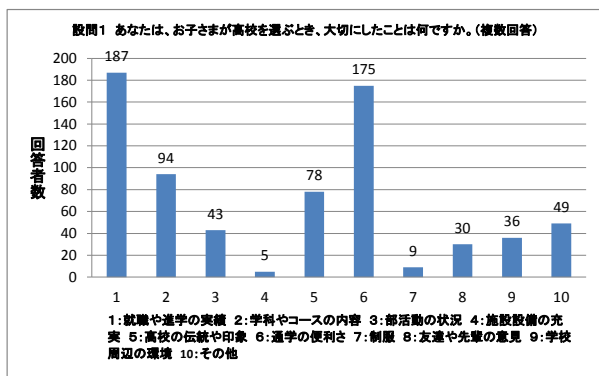
《設問3 高校で身に付けたいこと》「良好な人間関係を築く力」は49人(35.8%)で最も多く、以下「進学できる学力」は35人(25.5%)、「一般常識や社会常識をわきまえる態度」は33人(24.1%)の順である。

《設問4 通学時間について》「30分未満」は89人(65.0%)が最も多く、ついで「30分～1時間未満」は39人(28.5%)である。

《設問5 学年当たりの学級数》「1学級」は59人(43.1%)で最も多く、以下「2～3学級」は53人(38.7%)、「4～5学級」は20人(14.6%)の順である。

《設問6 あるとよい学科について》「進学、就職どちらにも対応できる普通科」は109人(79.6%)で突出して多く、以下「音楽・美術・体育に関する学科」は66人(48.2%)、「進学に重点をおいた普通科」は46人(33.6%)の順である。

高知県立高等学校再編振興に係るアンケート(高等学校 全日制 保護者)



対象: 全日制13校 365名(高校2年生の保護者)

《設問1 高校を選ぶとき、大切にしたいこと》「就職や進学の実績」は187人(51.2%)で最も多く、以下「通学の便利さ」は175人(47.9%)、「学科やコースの内容」は94人(25.8%)の順である。

《設問2 高校で望むこと》「進路につながる学力」は206人(56.4%)で最も多く、以下「生徒一人一人に応じた指導・支援」151人(41.4%)、「授業の充実」122人(33.4%)の順である。

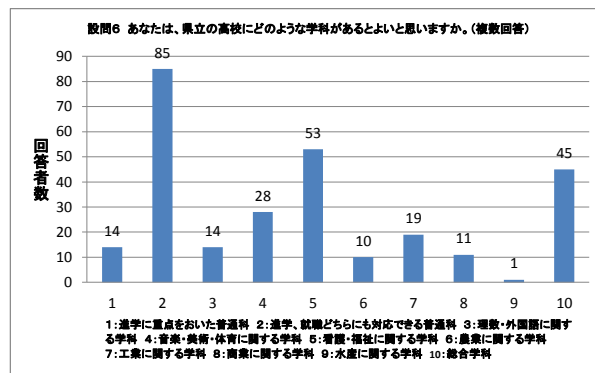
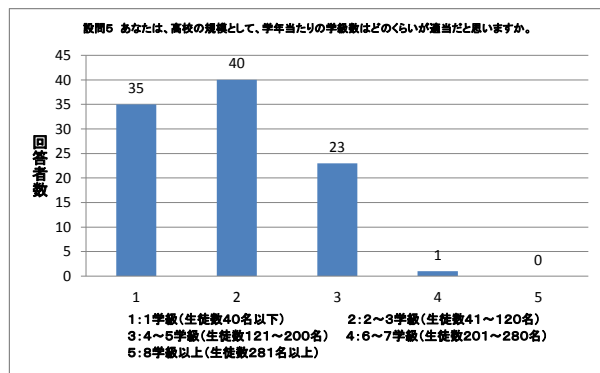
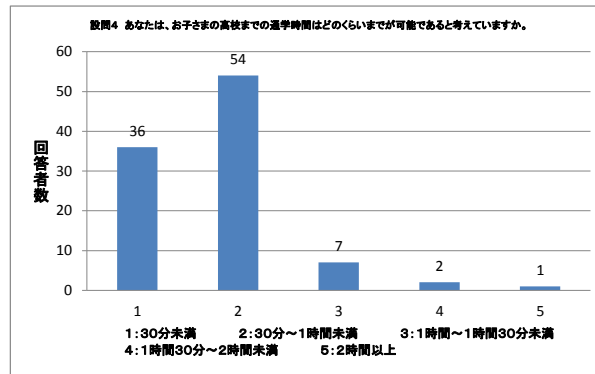
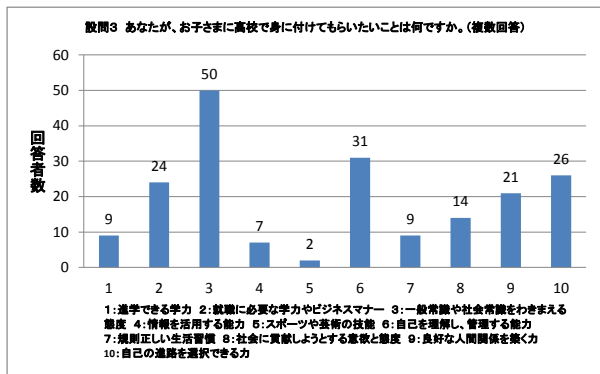
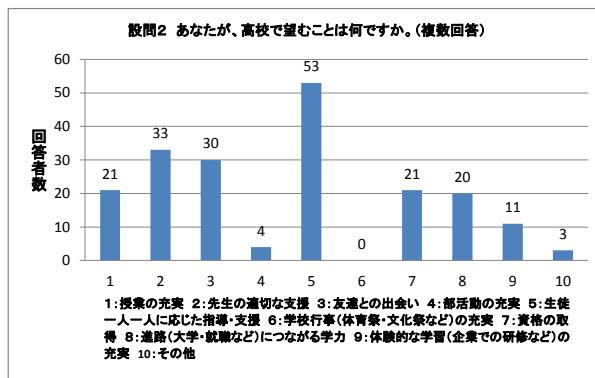
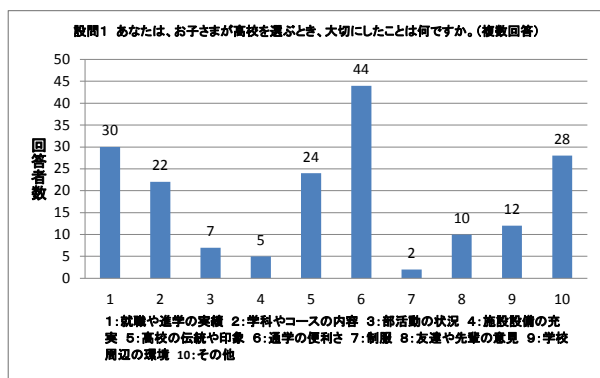
《設問3 高校で身に付けてもらいたいこと》「進学できる学力」は155人(42.5%)で最も多く、以下「一般常識や社会常識をわかまえる態度」は146人(40.0%)、「自己の進路を選択できる力」は119人(32.6%)の順である。

《設問4 通学時間について》「30分～1時間未満」は220人(60.3%)で最も多く、次いで「30分未満」119人(32.6%)である。

《設問5 学年当たりの学級数》「4～5学級」は152人(41.6%)で最も多く、次いで「2～3学級」は110人(30.1%)である。

《設問6 あるとよい学科について》「進学、就職どちらでも対応できる普通科」は288人(78.9%)で最も多く、以下「進学に重点をおいた普通科」145人(39.7%)、「看護・福祉に関する学科」は142人(38.9%)の順である。

高知県立高等学校再編振興に係るアンケート(高等学校 定時制 保護者)



対象: 定時制9校 100名(高校2年生の保護者)

《設問1 高校を選ぶとき、大切にしたいこと》「通学の便利さ」は44人(44.0%)で最も多く、次いで「就職や進学の実績」30人(30.0%)である。

《設問2 高校で望むこと》「生徒一人一人に応じた指導・支援」は53人(53.0%)で最も多く、以下「先生の適切な支援」は33人(33.0%)、「友達との出会い」は30人(30.0%)の順である。

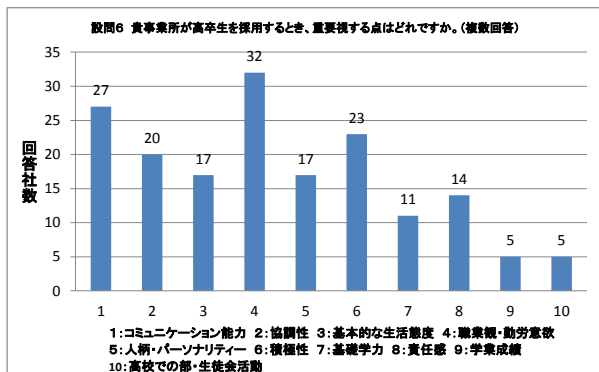
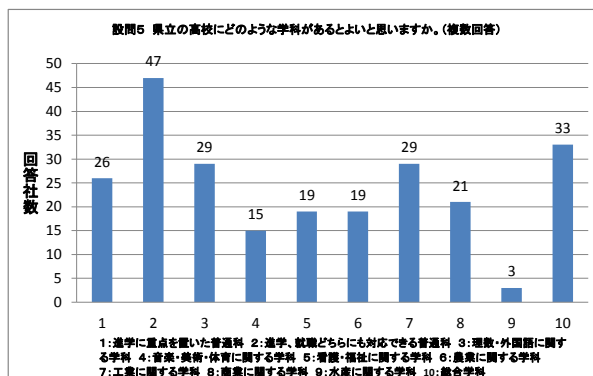
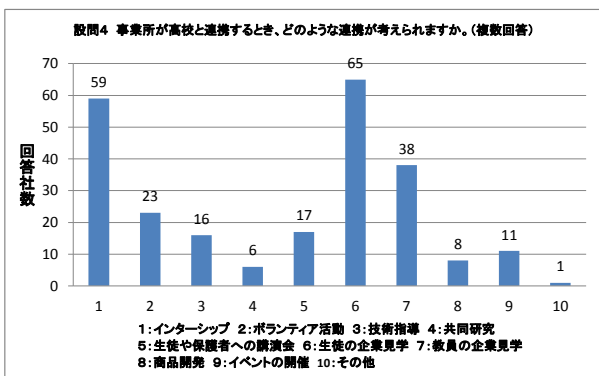
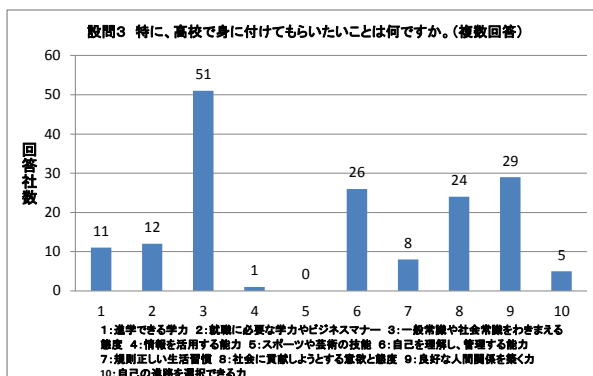
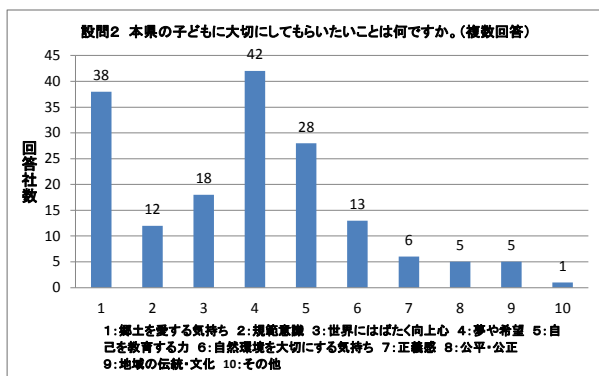
《設問3 高校で身に付けてもらいたいこと》「一般常識や社会常識をわかまえる態度」は50人(50.0%)で最も多く、以下「自己を理解し管理する能力」は31人(31.0%)、「自己の進路を選択できる力」は26人(26.0%)の順である。

《設問4 通学時間について》「30分～1時間未満」は54人(54.0%)で最も多く、次いで「30分未満」は36人(36.0%)である。

《設問5 学年当たりの学級数》「2～3学級」は40人(40.0%)で最も多く、以下「1学級」は35人(35.0%)、「4～5学級」は23人(23.0%)の順である。

《設問6 あるとよい学科について》「進学、就職どちらでも対応できる普通科」は85人(85.0%)で最も多く、以下「看護・福祉に関する学科」は53人(53.0%)、「総合学科」は45人(45.0%)の順である。

高知県立高等学校再編振興に係るアンケート(事業所)



対象:県内企業 84 社

《設問2 子どもに大切にしてもらいたいこと》「夢や希望」は42事業所(50.0%)で最も多く、以下「郷土を愛する気持ち」は38事業所(45.2%)、「自己を教育する力」は28事業所(33.3%)の順である。

《設問3 高校で身に付けてもらいたいこと》「一般常識や社会常識をわかまえる態度」で51事業所(60.7%)で最も多く、以下「良好な人間関係を築く力」は29事業所(34.5%)、「自己を理解し、管理する能力」は26事業所(31.0%)、「社会に貢献しようとする意欲と態度」は24事業所(28.6%)の順である。

《設問4 高校との連携について》「生徒の企業見学」は65事業所(77.4%)、「インターシップ」は59事業所(70.2%)が多く、以下「教員の企業見学」は38事業所(45.2%)の順である。

《設問5 あるとよい学科》「進学、就職どちらにも対応できる普通科」は47事業所(56.0%)で最も多く、以下「総合学科」は33事業所(39.3%)、「理数・外国語に関する学科」は29事業所(34.5%)、「工業に関する学科」は29事業所(34.5%)、「進学に重点を置いた普通科」は26事業所(31.0%)の順である。

《設問6 高校生を採用する際の重視点について》「職業観・勤労意欲」は32事業所(38.1%)で最も多く、以下「コミュニケーション能力」は27事業所(32.1%)、「積極性」は23事業所(27.4%)の順である。

4 設問ごとの比較

(1) 進学する高校を選択するための要素について

問1 あなたが（お子さまの）進学する高校を選ぶとき、大切に（した）ことは何ですか。
次の中から**2つ**選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目	回答者	中学生	高校生	中学校保護者	高等学校保護者
1 就職や進学の実績		52.9%	35.4%	66.9%	46.7%
2 学科やコースの内容		40.5%	29.6%	44.2%	24.9%
3 部活動の状況		23.8%	11.9%	10.6%	10.8%
4 施設設備の充実		14.8%	5.0%	8.2%	2.2%
5 高校の伝統や印象		18.1%	16.9%	17.7%	21.9%
6 通学の便利さ		21.0%	42.6%	31.5%	47.1%
7 制服		4.3%	7.0%	0.3%	2.4%
8 友達や先輩の意見		11.5%	20.9%	4.0%	8.6%
9 学校周辺の環境		7.0%	13.5%	6.2%	10.3%
10 その他		1.7%	6.1%	6.3%	16.6%

※ その他に書かれた意見について

- ① 中学生と高校生は「家族や先生の意見」、「自分に合っているかどうか」という意見があった。また、中学生は「地元に残ること」や「学校行事」、高校生は「経済的理由」という意見があった。
- ② 保護者は「子どもの意思や学力」、「将来の目標がかなえられるかどうか」という意見があった。また、中学生保護者は「地震対策」、高校生保護者は「経済的理由」や「先生の意見」という意見があった。

【コメント】

- ① 全体的に、高校を選択するための要素として「就職や進学の実績」を大切にしている。卒業後の進路を考えただけで、高校を選んでいることがうかがわれる。
- ② 中学生とその保護者は「学科やコースの内容」を選んだ割合が高く、高校教育の内容への関心がうかがわれる。高校教育の内容を中学生やその保護者に知ってもらう機会を増やす必要がある。
- ③ 高校生とその保護者は「通学の便利さ」を一番多く選んでおり、通学の便利さは現実の高校生活を送るうえで重要な要素となっている。
- ④ 高校を選択するための要素として「制服」を選んでいる割合は他と比べて低い。特に、保護者はその関心が低いようである。

(2) 高校で望むことについて

問2 あなたが、高校で望むことは何ですか。次の中から**2つ**選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目	回答者	中学生	高校生	中学校保護者	高等学校保護者
1	授業の充実	29.4%	26.9%	31.7%	30.8%
2	先生の適切な支援	6.3%	10.6%	17.3%	21.7%
3	友達との出会い	39.4%	34.1%	23.9%	23.0%
4	部活動の充実	23.2%	17.2%	9.5%	7.3%
5	生徒一人一人に応じた指導・支援	11.8%	16.9%	39.9%	43.9%
6	学校行事の充実	20.9%	27.8%	1.4%	2.2%
7	資格の取得	15.4%	15.2%	17.6%	14.2%
8	進路につながる学力	46.1%	40.7%	51.0%	48.6%
9	体験的な学習の充実	5.3%	5.9%	5.4%	4.9%
10	その他	0.3%	1.5%	0.6%	1.9%

※ その他に書かれた意見について

- ① 中学生と高校生は「能力の向上」という意見があった。
- ② 保護者は「子どもの成長」、「子どもに合った学校生活」という意見があった。

【コメント】

- ① 生徒と保護者がともに「進路につながる学力」を一番多く選んでいる。また、「授業の充実」を選ぶ割合も高く、学力保障のための授業の充実は大切なものの一つと考えられる。
- ② 「部活動の充実」及び「学校行事の充実」では、保護者の選んだ割合に比べ、生徒の選んだ割合は高い。生徒が満足した高校生活を送るためには、部活動に活力があること、充実した学校行事ができる環境を整えることも必要である。
- ③ 「生徒一人一人に応じた指導・支援」及び「先生の適切な支援」では、生徒の選んだ割合に比べ、保護者の選んだ割合は高い。保護者は生徒の意識以上に個に応じた指導・支援を望んでいる。学校は生徒一人一人をよく認め、より一層個に応じたきめ細やかな指導を行わなくてはならない。
- ④ 中学生と高校生は「進路につながる学力」に次いで「友達との出会い」を多く選んでおり、高校時代に人との出会いを望んでいることがうかがわれる。

(3) 高校生活を通して身に付けたい力について

問3 あなたが、(お子さまに) 高校で身に付けたい(身に付けてもらいたい) ことは何ですか。
次の中から**2つ**選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目 \ 回答者	中学生	高校生	中学校保護者	高等学校保護者	事業所
1 進学できる学力	49.2%	46.9%	26.1%	35.3%	13.1%
2 就職に必要な学力やビジネスマナー	29.7%	19.3%	20.9%	16.6%	14.3%
3 一般常識や社会常識をわかまえる態度	25.4%	29.3%	47.4%	42.2%	60.7%
4 情報を活用する能力	8.8%	8.1%	4.6%	4.5%	1.2%
5 スポーツや芸術の技能	15.4%	10.9%	3.0%	2.4%	0.0%
6 自己を理解し、管理する能力	9.8%	16.5%	24.7%	27.1%	31.0%
7 規則正しい生活習慣	8.1%	10.9%	4.9%	4.9%	9.5%
8 社会に貢献しようとする意欲と態度	8.1%	6.7%	9.7%	9.2%	28.6%
9 良好な人間関係を築く力	26.6%	33.7%	25.7%	24.1%	34.5%
10 自己の進路を選択できる力	14.4%	14.6%	31.4%	31.2%	6.0%

【コメント】

- ① 中学生と高校生は「進学できる学力」を一番多く選んでいる。また、中学生は「就職に必要な学力やビジネスマナー」を二番目に多く選んでいる。高校において、進路につながる学力を保障する取組を充実させる必要がある。
- ② 保護者と事業所はともに「一般常識や社会常識をわかまえる態度」を一番多く選んでおり、「進学できる学力」を求める生徒の意識との違いがうかがわれる。
- ③ 事業所は「一般常識や社会常識をわかまえる態度」や「良好な人間関係を築く力」を多く選んでおり、社会人としての態度や能力を求めていることがうかがわれる。また、高校生も「良好な人間関係を築く力」を二番目に多く選んでおり、コミュニケーション能力の必要性を感じていると思われる。
- ④ 「一般常識や社会常識をわかまえる態度」を高校で身に付けたいこととして選んだ割合は事業所が一番高く、次いで保護者、生徒の順になっている。それぞれの回答者の立場による違いがうかがわれる。

(4) 高校への通学可能な時間について

問4 あなたは、(お子さまの) 高校までの通学時間はどのくらいまでがよいと思いますか(可能であると考えていますか)。次の中から1つ選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目	回答者	中学生	高校生	中学校保護者	高等学校保護者
1	30分未満	35.7%	60.4%	22.2%	33.3%
2	30分～1時間未満	47.8%	35.0%	62.0%	58.9%
3	1時間～1時間30分未満	12.0%	2.8%	12.8%	7.1%
4	1時間30分～2時間未満	3.5%	0.6%	1.4%	0.6%
5	2時間以上	0.7%	0.9%	0.0%	0.2%

【コメント】

- ① 高校生は、「30分未満」を一番多く選んでおり、問1と同様に現実の高校生活を送るうえで通学の便利さが重要な要素となっていることがうかがわれる。
- ② 生徒と保護者のほとんどが通学時間は1時間未満を望んでいる。部活動など高校生活の充実に時間をかけることを望んでいることが推察される。
- ③ 中学校の所在する地域別の集計結果では、どの地域の保護者も「30分～1時間未満」を多く選んでいる。中学生は、ほとんどの地域の生徒で「30分～1時間未満」を一番多く選んでいるが、高知市の生徒は「30分未満」を一番多く選んでいる。

(5) 高校の適正な規模について

問5 あなたの行きたい高校が(あなたは、高校の規模として)、学年当たりどのくらいの学級数であればよいと思いますか(学年当たりの学級数はどのくらいが適切だと思いますか)。次の中から1つ選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目	回答者	中学生	高校生	中学校保護者	高等学校保護者
1	1学級	8.0%	19.3%	13.3%	18.3%
2	2～3学級	38.4%	31.3%	30.1%	32.3%
3	4～5学級	35.2%	33.1%	39.3%	37.6%
4	6～7学級	11.6%	13.0%	12.5%	9.2%
5	8学級以上	5.7%	3.1%	1.3%	0.6%

【コメント】

- ① 生徒と保護者の多くが「2～3学級」又は「4～5学級」を選んでいる。1学年が複数の学級編成を望んでおり、部活動や学校行事を充実、教科科目等に一定の選択幅が可能な学校規模を望んでいることが推察できる。
- ② 高校生とその保護者が「1学級」を選んでいる割合が20%近くある。これは、定時制に在籍する高校生とその保護者が多く選んでいることによるものである。
- ③ 中学校の所在する地域別の集計結果では、どの地域の中学生も多くが「2～3学級」又は「4～5学級」を選んでいる。「2～3学級」を約50%、「4～5学級」を約25%選んでいる地域がある一方、逆の割合の回答をした地域もある。

(6) どのような学科があるとよいかについて

問6 あなたの行きたい高校の学科は何ですか(あなたは、県立の高校にどのような学科があるとよいと思いますか)。次の中から3つ選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目	回答者	中学生	高校生	中学校保護者	高等学校保護者	事業所
1 進学に重点をおいた普通科		49.9%	43.7%	28.5%	34.2%	31.0%
2 進学、就職どちらにも対応できる普通科		71.1%	74.4%	84.5%	80.2%	56.0%
3 理数・外国語に関する学科		30.7%	26.7%	26.9%	26.2%	34.5%
4 音楽・美術・体育に関する学科		22.3%	35.9%	17.9%	18.9%	17.9%
5 看護・福祉に関する学科		16.1%	24.6%	41.4%	41.9%	22.6%
6 農業に関する学科		11.3%	13.0%	9.8%	13.3%	22.6%
7 工業に関する学科		23.7%	14.8%	20.8%	18.5%	34.5%
8 商業に関する学科		18.6%	17.0%	14.4%	11.8%	25.0%
9 水産に関する学科		3.5%	2.4%	1.4%	0.9%	3.6%
10 総合学科		34.9%	30.9%	40.7%	37.8%	39.3%

【コメント】

- ① 生徒と保護者がともに「進学、就職どちらにも対応できる普通科」を一番多く選んでいる。
中学生とその保護者は、将来にどのような変化があるのかという不安と期待から幅広い選択が可能であるところを望んでいると考えられる。
- ② 事業所は、生徒や保護者に比べ「農業に関する学科」、「工業に関する学科」、「商業に関する学科」を選んでいる割合が高い。一定数の産業系専門学科の卒業生を望んでいることがうかがわれる。

5 全日制と定時制との比較

県立高等学校生徒（2年生）とその保護者からの回答のうち、全日制と定時制に分けて比較した。

生徒（全日制403名、定時制（昼間部）55名、定時制（夜間部）82名、合計540名）

保護者（全日制365名、定時制（昼間部）42名、定時制（夜間部）58名、合計465名）

（1） 進学する高校を選択するための要素について

問1 あなたが（お子さまの）進学する高校を選ぶとき、大切に（した）ことは何ですか。
次の中から**2つ**選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目 \ 回答者	全日制	定時制（昼間）	定時制（夜間）	保護者全日制	保護者定時制（昼間）	保護者定時制（夜間）
1 就職や進学の実績	39.2%	16.4%	29.3%	51.2%	14.3%	41.4%
2 学科やコースの内容	31.3%	25.5%	24.4%	25.8%	26.2%	19.0%
3 部活動の状況	13.2%	12.7%	4.9%	11.8%	9.5%	5.2%
4 施設設備の充実	5.2%	7.3%	2.4%	1.4%	0.0%	8.6%
5 高校の伝統や印象	16.6%	20.0%	15.9%	21.4%	33.3%	17.2%
6 通学の便利さ	42.9%	34.5%	46.3%	47.9%	47.6%	41.4%
7 制服	6.7%	12.7%	4.9%	2.5%	0.0%	3.4%
8 友達や先輩の意見	19.1%	23.6%	28.0%	8.2%	9.5%	10.3%
9 学校周辺の環境	10.9%	23.6%	19.5%	9.9%	11.9%	12.1%
10 その他	4.5%	12.7%	9.8%	13.4%	31.0%	25.9%

【コメント】

- ① 全体的に「通学の便利さ」を多く選択している。全日制、定時制にかかわらず、通学の便利さは高校を選ぶときの大きな要素となっている。
- ② 全日制は、定時制と比べ「就職や進学の実績」を多く選んでいる。全日制の生徒とその保護者は将来の進路を意識する傾向がうかがわれる。
- ③ 定時制の生徒は、全日制の生徒と比べ「友達や先輩の意見」や「学校周辺の環境」を多く選ぶ傾向がある。
- ④ 定時制（昼間）の保護者は31.0%、定時制（夜間）の保護者は25.9%が「その他」を選んでおり、そのほとんどが「本人の希望」を挙げている。

(2) 高校で望むことについて

問2 あなたが、(お子さまに) 高校で望むことは何ですか。次の中から**2つ**選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目	回答者	全日制	定時制(昼間)	定時制(夜間)	保護者全日制	保護者定時制(昼間)	保護者定時制(夜間)
1	授業の充実	26.1%	29.1%	29.3%	33.4%	7.1%	31.0%
2	先生の適切な支援	8.4%	12.7%	19.5%	18.6%	33.3%	32.8%
3	友達との出会い	32.8%	38.2%	37.8%	21.1%	26.2%	32.8%
4	部活動の充実	19.4%	14.5%	8.5%	8.2%	9.5%	0.0%
5	生徒一人一人に応じた指導・支援	15.6%	25.5%	17.1%	41.4%	66.7%	43.1%
6	学校行事の充実	30.0%	25.5%	18.3%	2.7%	0.0%	0.0%
7	資格の取得	13.4%	16.4%	23.2%	12.3%	16.7%	24.1%
8	進路につながる学力	44.7%	27.3%	30.5%	56.4%	19.0%	20.7%
9	体験的な学習の充実	6.2%	5.5%	4.9%	3.3%	11.9%	10.3%
10	その他	1.0%	3.6%	2.4%	1.6%	4.8%	1.7%

【コメント】

- ① 「生徒一人一人に応じた指導・支援」では、全日制と定時制ともに生徒を選んだ割合に比べ、保護者の選んだ割合が高い。特に、定時制(昼間)の保護者はその割合は高い。
- ② 定時制(昼間)の保護者は「生徒一人一人に応じた指導・支援」や「先生の適切な支援」を選ぶ割合が高い。
- ③ 「進路につながる学力」では、全日制の生徒やその保護者に比べ、定時制の生徒やその保護者が選んだ割合は低い。定時制の生徒やその保護者は「進路につながる学力」以外にも多様な価値観があることがうかがわれる。

(3) 高校生活を通して身に付けたい力について

問3 あなたが(お子さまに)、高校で身に付けたい(身に付けてもらいたい)ことは何ですか。次の中から**2つ**選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目	回答者	全日制	定時制(昼間)	定時制(夜間)	保護者全日制	保護者定時制(昼間)	保護者定時制(夜間)
1	進学できる学力	54.1%	25.5%	25.6%	42.5%	11.9%	6.9%
2	就職に必要な学力やビジネスマナー	18.6%	20.0%	22.0%	14.5%	23.8%	24.1%
3	一般常識や社会常識をわかまえる態度	31.0%	20.0%	26.8%	40.0%	57.1%	44.8%
4	情報を活用する能力	6.5%	16.4%	11.0%	3.8%	0.0%	12.1%
5	スポーツや芸術の技能	9.9%	23.6%	7.3%	2.5%	4.8%	0.0%
6	自己を理解し、管理する能力	15.1%	16.4%	23.2%	26.0%	31.0%	31.0%
7	規則正しい生活習慣	9.4%	18.2%	13.4%	3.8%	4.8%	12.1%
8	社会に貢献しようとする意欲と態度	7.2%	3.6%	6.1%	7.9%	14.3%	13.8%
9	良好な人間関係を築く力	33.0%	36.4%	35.4%	24.9%	16.7%	24.1%
10	自己の進路を選択できる力	12.4%	18.2%	23.2%	32.6%	26.2%	25.9%

【コメント】

- ① 全日制の保護者と定時制の保護者ともに「一般常識や社会常識をわかまえる態度」を多く選んでいる。これは、事業所も一番多く選んでいることから、社会人となるための重要な要素であることが考えられる。
- ② 全日制の生徒が「進学できる学力」、「良好な人間関係を築く力」、「一般常識や社会常識をわかまえる態度」を多く選んでいるのに対して、定時制の生徒は「良好な人間関係を築く力」を多く選んでいるものの、他にも幅広く選択する傾向がある。このことから、定時制の生徒のニーズは多様であることがうかがわれる。
- ③ 全日制の生徒と定時制の生徒ともに「良好な人間関係を築く力」を選んだ割合は保護者のそれより高い。保護者と比べ生徒は人間関係を大切にする傾向がうかがわれる。

(4) 高校への通学可能な時間について

問4 あなたは、(お子さまの) 高校までの通学時間はどのくらいまでがよいと思いますか (可能であると考えていますか)。次の中から1つ選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目	回答者	全日制	定時制(昼間)	定時制(夜間)	保護者全日制	保護者定時制(昼間)	保護者定時制(夜間)
1 30分未満		58.8%	61.8%	67.1%	32.6%	33.3%	37.9%
2 30分～1時間未満		37.2%	29.1%	28.0%	60.3%	54.8%	53.4%
3 1時間～1時間30分未満		2.2%	5.5%	3.7%	7.1%	9.5%	5.2%
4 1時間30分～2時間未満		0.5%	1.8%	0.0%	0.3%	2.4%	1.7%
5 2時間以上		0.7%	1.8%	1.2%	0.0%	0.0%	1.7%

【コメント】

- ① 全体的に、通学時間は1時間未満がよいと考えている。特に、定時制は通学時間が短い方を選ぶ傾向がある。
- ② 全日制の生徒と定時制の生徒ともに「30分未満」を選択した割合が高いが、それらの保護者は「30分～1時間未満」を選択した割合が高い。

(5) 高校の適正な規模について

問5 あなたの行きたい高校が（あなたは、高校の規模として）、学年当たりどのくらいの学級数であればよいと思いますか（学年当たりの学級数はどのくらいが適切だと思いますか）。次の中から1つ選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目	回答者	全日制	定時制（昼間）	定時制（夜間）	保護者全日制	保護者定時制（昼間）	保護者定時制（夜間）
1	1学級	11.2%	41.8%	43.9%	13.7%	33.3%	36.2%
2	2～3学級	28.8%	40.0%	37.8%	30.1%	45.2%	36.2%
3	4～5学級	39.5%	14.5%	14.6%	41.6%	21.4%	24.1%
4	6～7学級	16.4%	3.6%	2.4%	11.5%	0.0%	1.7%
5	8学級以上	4.0%	0.0%	1.2%	0.8%	0.0%	0.0%

【コメント】

- ① 全日制の生徒とその保護者は「2～3学級」又は「4～5学級」を多く選んでいるのに対し、定時制の生徒とその保護者は、「1学級」又は「2～3学級」を多く選んでいる。全日制と定時制では、それぞれに対する期待とニーズの違いが推察される。

(6) どのような学科があるとよいかについて

問6 あなたの行きたい高校の学科は何ですか（あなたは、県立の高校にどのような学科があるとよいと思いますか）。次の中から3つ選んでください。

<回答者別の各項目を選んだ割合>

項目	回答者	全日制	定時制（昼間）	定時制（夜間）	保護者全日制	保護者定時制（昼間）	保護者定時制（夜間）
1	進学に重点をおいた普通科	47.1%	30.9%	35.4%	39.7%	9.5%	17.2%
2	進学、就職どちらにも対応できる普通科	72.7%	80.0%	79.3%	78.9%	83.3%	86.2%
3	理数・外国語に関する学科	28.0%	27.3%	19.5%	29.6%	21.4%	8.6%
4	音楽・美術・体育に関する学科	31.8%	49.1%	47.6%	16.4%	31.0%	25.9%
5	看護・福祉に関する学科	25.1%	25.5%	22.0%	38.9%	47.6%	56.9%
6	農業に関する学科	13.6%	10.9%	11.0%	14.2%	9.5%	10.3%
7	工業に関する学科	14.6%	9.1%	19.5%	18.4%	19.0%	19.0%
8	商業に関する学科	18.1%	18.2%	11.0%	12.1%	11.9%	10.3%
9	水産に関する学科	1.7%	5.5%	3.7%	0.8%	2.4%	0.0%
10	総合学科	31.0%	29.1%	31.7%	35.9%	50.0%	41.4%

【コメント】

- ① 全日制と定時制ともに8割程度が「進学に重点をおいた普通科」を選んでいる。全日制と定時制ともに将来の進路に柔軟に対応できる体制を望んでいることがうかがわれる。
- ② 全日制と定時制ともに保護者は生徒に比べ、「看護・福祉に関する学科」を多く選んでいる。また、生徒は保護者に比べ「音楽・美術・体育に関する学科」を多く選んでいる。
- ③ 定時制の生徒の3割以上は「進学に重点をおいた普通科」を選択しているが、その保護者が選択した割合は低い。定時制において、生徒と保護者の間に進学に対する意識の違いがうかがわれる。

6 事業所について

(1) 本県の子どもに大切にしてもらいたいこと

問2 本県の子どもに大切にしてもらいたいことは何ですか。次の中から2つ選んでください。

項目	回答者	事業所
1 郷土を愛する気持ち		45.2%
2 規範意識		14.3%
3 世界にはばたく向上心		21.4%
4 夢や希望		50.0%
5 自己を教育する力		33.3%
6 自然環境を大切にする気持ち		15.5%
7 正義感		7.1%
8 公平・公正		6.0%
9 地域の伝統・文化		6.0%
10 その他		1.2%

【コメント】

- ① 「夢や希望」、「郷土を愛する気持ち」を選んだ割合が高い。これは、高知県教育振興基本計画（平成21年9月）における基本的な教育理念（目指すべき人間像）の「郷土を愛し世界にはばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子どもたちの育成」、「学ぶ目的や意義を自覚し、自ら学ぶ力をもった人間の育成」や基本方針の一つである「心身ともに健やかで『夢』や『希望』にあふれた土佐人を育てよう」に一致している。

(2) 高校生活を通して身に付けたい力

問3 特に、高校で身に付けてもらいたいことは何ですか。次の中から2つ選んでください。

項目	回答者	事業所
1 進学できる学力		13.1%
2 就職に必要な学力やビジネスマナー		14.3%
3 一般常識や社会常識をわかまえる態度		60.7%
4 情報を活用する能力		1.2%
5 スポーツや芸術の技能		0.0%
6 自己を理解し、管理する能力		31.0%
7 規則正しい生活習慣		9.5%
8 社会に貢献しようとする意欲と態度		28.6%
9 良好な人間関係を築く力		34.5%
10 自己の進路を選択できる力		6.0%

【コメント】

- ① 「一般常識や社会常識をわかまえる態度」、「良好な人間関係を築く力」、「自己を理解し、管理する能力」を選んだ割合が高く、これは、高校生とその保護者の傾向と一致する。
- ② 「社会に貢献しようとする意欲と態度」を選んだ割合は28.6%であるが、高校生は6.7%、その保護者は9.2%であり、意識の違いがうかがわれる。

(3) 事業所と高校との連携について

問4 事業所が高校と連携するとき、どのような連携が考えられますか。次の中から3つ選んでください。

項目	回答者	事業所
1 インターンシップ		70.2%
2 ボランティア活動		27.4%
3 技術指導		19.0%
4 共同研究		7.1%
5 生徒や保護者への講演会		20.2%
6 生徒の企業見学		77.4%
7 教員の企業見学		45.2%
8 商品開発		9.5%
9 イベントの開催		13.1%

【コメント】

- ① 「生徒の企業見学」、「インターンシップ」を選んだ割合が高い。高校生採用に関する企業意識調査（高知県経営者協会・平成21年2月）の中で、高卒新卒者の採用と定着に向けて、職業関連教育に産学連携で取り組む必要性が報告されており、事業所は、まず学校や高校生に事業所の内容を知ってもらいたいという傾向がうかがわれる。

(4) 高卒採用に関し、重要視する点について

問6 貴事業所が高卒者を採用するとき、重要視する点はどれですか。次の中から2つ選んでください。

項目	回答者	事業所
1 コミュニケーション能力		32.1%
2 協調性		23.8%
3 基本的な生活態度		20.2%
4 職業観・勤労意欲		38.1%
5 人柄・パーソナリティ		20.2%
6 積極性		27.4%
7 基礎学力		13.1%
8 責任感		16.7%
9 学業成績		6.0%
10 高校での部・生徒会活動		6.0%

【コメント】

- ① 「職業観・勤労意欲」、「コミュニケーション能力」、「積極性」を選んだ割合が高い。今回の調査結果と「平成19年度高校新卒者採用に関するアンケート調査結果」（東京経営者協会）と比べると、本県の事業所は「職業観・勤労意欲」、「積極性」を重要視する傾向がうかがわれる。

② 「貴事業所が高卒者を採用するとき重要視する点について、問6での回答（選択する項目）以外にあればお書きください。」という問いに対し次の回答があった。

(ア) 体力・健康

(イ) 人柄の良さ

(ウ) 自分の意見を表現できる力

(エ) 欠席数（特別な理由を除く）

7 総括

- (1) 通学時間は本県の地理的な環境や交通事情等を考慮しなければならないが、おおむね1時間未満が適当であるという意向がうかがわれる。部活動、家庭学習など自主的な活動に時間を費やすことが可能になり、高校生活に幅ができる。
- (2) 学校規模は、全体的に2～5学級の範囲を多く回答している。中学生は「2～3学級」と回答している割合が「4～5学級」と回答している割合よりやや高いが、高校生、中学生保護者、高校生保護者は「2～3学級」より「4～5学級」と回答した割合が高くなっている。高校生やその保護者は中学生と比べると、規模の大きな方を望む傾向がうかがわれる。教育課程の幅の広さ、部活動の選択幅などからも適切な規模を望んでいることが推察される。
- (3) 進学する高校を選択するための要素では、中学生、高校生、それらの保護者は「就職や進学の実績」を多く選択し、高校で望むことでは「進路につながる学力」、高校生活を通して身に付けた力では「進学できる学力」や「就職に必要な学力やビジネスマナー」、「一般常識や社会常識をわきまえる態度」を多く選択している。これらのことから、生徒、保護者ともに高校卒業後の進路に対する関心の高さがうかがわれる。
- (4) どのような学科があるとよいかでは、中学生、高校生、それらの保護者は「進学・就職どちらにも対応できる普通科」を選んでいる割合が高い。中学校段階で将来の進路を決めかねている現状がうかがわれる。
- (5) 全日制と定時制との比較から、それぞれに対する期待や求める存在意義は違っている。